



平成 22 年度第 1 回常任理事会議事録

1. 開催日時(場所)

平成 22 年 05 月 08 日(土) 18:23~21:35 (筑北村社会体育館内会議室)

予定では 17:00 開始であったが、竹下委員長の到着を待って開始したため、開始時刻を変更した。

2. 常任理事会成立の条件

長野県フットサル連盟規約 Rev10 第 22 条「常任理事会の定足数」(4 名以上)により、下記出席者を以って平成 22 年度第 1 回長野県フットサル連盟常任理事会として成立条件を満たしている。

出席者(敬称略):

滝澤正, 竹下英三, 柳澤健司, 萩原慶一郎(追記)

遅刻: 菊地智之(19:10 より)

欠席者(敬称略):

並木計太(自然気胸による入院のため)

従って、下記議事内容は常任理事会として成立したので、採決結果を含め議事録として記録する。

3. 付議内容

長野県フットサル連盟規約 Rev10 第 20 条に規定されているとおり、事前に通知された案内(Rev02:05/02 発信)に記載された付議内容は以下であることが確認された。

[報告事項]

- ① 理事会終了後の各種手続きについて
- ② 選抜トップチームについて
- ③ 2010 年度年間スケジュールについて

[協議事項]

- ① 大会実行委員会における大会運営方法について
- ② リーグ委員会におけるリーグ運営方法について
- ③ 伊那地区へのゴール寄贈について
- ④ 連盟ホームページについて

4. 配布資料の確認

下記資料が配布されていることを確認した。

- ① 常理資 01-報 01:理事会終了後の各種手続きについて(ご報告)
- ② 2010 長野県連盟予定表 Rev06
- ③ 大会予算書ひな形
- ④ 試合イベント時間表記統一について(ご案内)一式
- ⑤ 常理資 01-協 03:ゴール寄贈について

5. 報告事項

[1] 理事会終了後の各種手続きについて

常理資 01-報 01 に従って以下が報告された。

(1) 連盟役員名簿について

05/07 メール配信済みの H22 連盟役員名簿 Rev06 が最新版。

(2) 連盟規約について

04/16 メール配信済みの以下規約が最新版。

- ① 長野県フットサル連盟規約 Rev10
- ② 長野県フットサル連盟慶長規定 Rev04
- ③ 大会担当役員費に関する規約 Rev01
- ④ 旅費に関する規約 Rev01

(3) 大会実行委員会事業計画について

全日本ユース(U15)および PUMA CUP の予選開催方法について、下記協議事項[1]大会実行委員会における大会運営方法について にて継続協議とした。

(4) リーグ委員会事業計画について

長野県フットサルリーグの日程について、下記協議事項[2] リーグ委員会におけるリーグ運営方法について にて継続協議とした。

(5) 連盟ホームページについて

本件は下記協議事項[4]連盟ホームページについて にて継続協議とした。

[2] 選抜トップチームについて

(1) 北信越大会

08/07～08 長野市豊野体育館で開催決定。大会運営は大会実行委員会にて実施。

レフェリーに関しては、(社)長野県サッカー協会審判委員会フットサル部会(当連盟審判部長)中村保志氏に通知済み。これをもとに、北信越サッカー協会審判委員会新谷フットサル部長にて、F1 一次試験に割り当てられる。本年度は石川県の出村裕司氏がF1 受験生となる。

(2) トップチーム活動

05/01～15 全県対象としたセレクション開催。その間、セレクション参加不可で有能な選手については、所属するクラブチームの練習試合もしくは練習に参加し、下記合同トレーニングに合流させる。

05/22, 06/05, 12, 26 の4日間(13:00～筑北)にて30名による合同トレーニングを開催。その後15名による合同トレーニングを07/10, 24, 31(場所時間ともに未定)と07/17～18 小谷合宿を予定している。

[3] 2010 年度年間スケジュールについて

2010 長野県連盟予定表 Rev06 に従って、特にリーグ委員会の予定をフィックスし、Rev07 発行予定とした。リーグ委員会日程が正しい場合もしくはリーグ委員会から Rev07 発行する場合ともに、ML にて報告とした。

6. 協議事項

[1] 大会実行委員会における大会運営方法について

(1) 大会実行予算書について

大会予算書ひな形をもとに、大会実行予算書の作成注意点を確認した。

ポイントは、予算書版数の明記、連盟加盟費の明記、担当役員名の明記、予算書における予算残高見直しである。

(2) 全日本大学フットサル大会について

大会要項の確認を依頼する際、常任理事としては判断(結論もしくは結果)を求められていることを念頭に置いて欲しい。例えば、ピッチサイズの記載に関しては正すだけでよく「大丈夫ですか？」などと結論を先送りするような発言は無意味であることを理解して欲しい。別の意図があれば追記すること。

募集チーム数は6チームとし、提出された予算書に従って実施することとした。

(3) 全日本ユース(U15)の予選開催方法について

5/末日までに予選方法を3パターン作成し、6/初旬に3種委員会と打合せ予定。

(4) PUMA CUP 予選開催方法について

12/11(土)南長野以外の会場を確保したい。継続して調査・予約する。

(5) 試合イベント時間表記統一について

[2] リーグ委員会におけるリーグ運営方法について

(1) 各地区リーグの日程について

リーグ委員長の認識は、現時点では各地区リーグのスケジュール確定中およびリーグ登録に関する処理中であったが、特に中信リーグに関しては5/2に開幕していたことが判明しており、各地区リーグ担当者とのコミュニケーションを向上するよう指示が出された。また、この件については、リーグ委員長より各地区リーグ担当者向けに、現状を報告するよう指示が出されることとなった。

また、リーグ統一要項の作成に関して、以下の問題が発生していることが判明したため、今後の対策案含めて協議した。

① リーグ統一要項の作成について

前理事長から前リーグ委員長宛てに指示されたリーグ統一要項の作成については未完、新リーグ委員長に引き継いだ(丸投げ)。現時点では未完のままであり、次年度からの運用を目指すこととした。しかし、要項の作成は早急に行い、常任理事会に提出し、精査することとした。

② 南信リーグの募集状況について

南信担当理事より募集要項を入手したが、上記統一要項未完に伴い、本年度は統一要項を逸脱した募集を行わざるを得ない状況である。これはリーグ委員長の判断に基づき対応する。

③ チーム登録について

過去に議論したチーム登録について、選抜チームを作成するにあたり、4月1日現在に、だれがどのチームに所属しているのか把握できない状況であり、その対応を協議した。

リーグ委員会で対応を行うのかそれとも強化育成部で対応を行うのか結論は出なかったが、少なくとも年度末である3月中に、選手は個人登録を済ませようリーグ委員会から各チームへ指導をすることとした。

(2) リーグ公式記録の作成について

現在までの記入方法について、記入者によって内容についてかなりの差がある。公式記録に予め選手名を記入し、試合の記録のみ記入させる方法、また記入方法の説明の場を設ける必要があると確認した。今後の対応はリーグ委員会にて協議することとなった。

[3] 伊那地区へのゴール寄贈について

今年度の予算確保も出来ていないことから、来年度以降への繰り越し事案となった。

また協議の中で、大町市総合体育館に設置してあるゴールについて検証された。これは過去に(社)長野県サッカー協会フットサル委員会(高橋千景氏が委員長時代)が寄贈されたゴールであるが、地域の使用もしているところであり移設は難しい模様。

[4] 連盟ホームページについて

白馬村のジンステップリサーチ殿を候補に考察中。担当者は萩原常任理事とした。引き続き検討することとした。

7. その他

(1) 連盟加盟費の入金状況

長野市フットサルリーグからの入金を確認しているが、それ以外のリーグからは入金されていない。入金予定を明確にし、報告すること。

(2) U23 協賛金未回収金について

(3) NTTdocomo 様からの協賛金について

強化育成部口座に¥30,000-の振込みがあったが、その意図が不明であるため、菅原副会長と滝澤にて、先方と打合せを予定。方針として、各選抜カテゴリーに¥30,000-とするのか、年間を通していくらとするのか決定する。

8. 次回常任理事会について

06/12(土) 17:00～ 筑北村社会体育館内会議室を予定した。

予定された議事内容は以下とした。

- ・ 全日本大学フットサル大会長野県大会の反省
- ・ 全日本大学フットサル大会北信越大会の運営について
- ・ 全日本女子フットサル大会について
- ・ SuperCup について
- ・ 北信越フットサルリーグ第一節の反省
- ・ 長野県フットサルリーグ開幕に向けて

以上

(文責:滝澤 正)